

長野養護学校

令和4年度
学校評価アンケート結果

学校評価アンケートへのご協力

ありがとうございました。

今年度は**90%以上のご家庭から回答をいただきました。**絆メールを介してグーグルフォームでのご回答をいただきました。

長野養護学校グランドデザインにそって学校教育について評価をいただきました。

以下の4つの重点にそって結果をお伝えします。

- I「子どもの人権を大切にした教育実践を進める学校」
- II「保護者と対話、思いや願いを受け留める学校」
- III「連携—関係機関・地域」
- IV「学校安全」

* アンケート結果の%は少数第一位を四捨五入で計算しています。

子どもの人権を大切にした教育実践

1 学校教育目標・学校像 楽しい学校生活であるか

○ AB評価 81% △ C評価 14% × DE評価 4%

	A とても あてはまる	B あてはまる	C どちらとも いえない	D あまり あてはまらない	E あてはまらない
保護者	47%	34%	14%	2%	2%
職員	21%	67%	11%	1%	0%
地域 諸機関	44%	52%	4%	0%	0%

1 学校教育目標・学校像 楽しい学校生活であるか

「毎日登校を楽しみにし、目標をもって活動している」、「毎日元気に通う姿を見て親は安心できます」等のご意見を多くいただきました。

- 今年度も新型コロナウイルス感染症による学級閉鎖や活動制限など日常の学校生活をおくることが難しい状況がありました。予防に努めながらもできることを模索し、子どもたちが、「今日はこれをやりたい」「明日も楽しみ」、と思えるような、生活づくり、授業づくりを今後も目指していきたいと思えます。

子どもの人権を大切にした教育

1 学校教育目標・学校像 選んでよかったか・相応しいか

○ AB評価 92% △ C評価 7% × DE評価 2%

	A とても あてはまる	B あてはまる	C どちらとも いえない	D あまり あてはまらない	E あてはまらない
保護者	56%	36%	7%	1%	1%
職員	12%	70%	15%	3%	0%
地域 諸機関	56%	40%	4%	0%	0%

1 学校教育目標・学校像

選んでよかったか・相応しいか

「一人ひとりの成長を認め、それにあつた支援をしていただける」、「個々のペースを大切にしてもらえる」、「こどもが成長していく姿に感謝している」、「小学校も長野養護学校が良かったと子どもが言っている」等の意見がありました。

- 多くのご家庭で「長養を選んでよかった」と回答していただきました。今後も「選んでよかった」と子どもや保護者の皆さんにも思っていただける学校を目指していきたいと思ひます。

子どもの人権を大切にした教育

2 人権を尊重した接し方・学校づくり 人権に配慮した、指導・支援

○ AB評価 96% △ C評価 4% × DE評価 0%

	A とても あてはまる	B あてはまる	C どちらとも いえない	D あまり あてはまらない	E あてはまらない
保護者	56%	40%	4%	0%	0%
職員	17%	63%	15%	3%	2%
地域 諸機関	60%	36%	4%	0%	0%

子どもの人権を大切にした教育

2 人権を尊重した接し方・学校づくり

いじめや体罰がない学校環境

○ AB評価 94% △ C評価 5% × DE評価 3%

	A とても あてはまる	B あてはまる	C どちらとも いえない	D あまり あてはまらない	E あてはまらない
保護者	55%	39%	5%	2%	1%
職員	30%	63%	6%	1%	0%
地域 諸機関	60%	36%	4%	0%	0%

2 人権を尊重した接し方・学校づくり

人権に配慮した、指導・支援、いじめや体罰がない学校環境

「一人一人を大切に思ってくださいる様子が伝わってくる」、「できないこともこうしたら出来ると手を差し伸べ、よく褒めてくださるので自信をもてるようになった」等の意見の一方で、「いじめや体罰については外からどうしてもわかりにくい」というご指摘もありました。

- 「わたし(あなた)はわたし(あなた)のままがいい」を大切にした支援・学校づくりをしていきます。
- 全職員で日頃の言動を振り返る研修を実施しました。引き続き、人権に関する研修を全職員で行い、保護者や地域の方にも研修内容をお知らせするなど人権感覚の向上に努めていきます。

保護者と対話し、その思いや願いをしっかりと受け止める学校

3 個に応じた指導 個別の指導計画に 保護者の願いが反映されているか

○ AB評価 93% △ C評価 6% × DE評価 3%

	A とても あてはまる	B あてはまる	C どちらとも いえない	D あまり あてはまらない	E あてはまらない
保護者	49%	44%	6%	2%	0%
職員	6%	73%	18%	3%	0%
地域 諸機関	73%	36%	0%	0%	0%

保護者と対話し、その思いや願いをしっかりと受け止める学校

3 個に応じた指導 個別の指導計画にそって 授業が実践されているか

○ AB評価 88% △ C評価 11% × DE評価 1%

	A とても あてはまる	B あてはまる	C どちらとも いえない	D あまり あてはまらない	E あてはまらない
保護者	41%	47%	11%	1%	0%
職員	4%	70%	21%	5%	0%
地域 諸機関	64%	36%	0%	0%	0%

3 個に応じた指導

個別の指導計画に保護者の願いが反映されているか
個別の指導計画にそって授業が実践されているか

「子どもに必要なことを常に考えてくださり、子どもに合わせてステップアップしてくださる」「具体的で細かなところまで配慮してある」などのご意見がありました。一方で、個別の学習課題の充実や個別の指導計画の形式についてご意見をいただきました。

- 子どもの日々の育ちの姿を具体的にお伝えしながら保護者の願いが反映されるよう連携に取り組んでいきたいと思えます。
- 今年度より全県統一の個別の指導計画の形式に「個別の指導計画」を日々の実践で活かし、また成果や課題を懇談会や支援会議等でお伝えできるようにしていきます。

3 個に応じた指導

ICT機器を活用し、個に応じた学びの最適化を進めている。

○ AB評価 69% △ C評価 27% × DE評価 4%

	A とても あてはまる	B あてはまる	C どちらとも いえない	D あまり あてはまらない	E あてはまらない
保護者	20%	49%	27%	3%	1%
職員	8%	47%	35%	9%	1%

3 個に応じた指導

ICT機器を活用し、個に応じた学びの最適化を進めている。

「ICT機器の活用の幅を拡げてほしい」というご要望とともに「ICTとは具体的には何ですか」というご質問も複数いただきました。

- 令和4年度グランドデザインを受け、今年度より追加した評価項目です。
- ICT(Information and Communication Technology)は情報通信技術を表し、コロナ禍で急激に進んだ学びの分野です。本校では一人一台のタブレットを活用し、子どもの発達段階を考慮しながら、子どもたちの学びがさらに深まるよう職員研修を積み重ねていくとともに、ICTを活用した学びのねらい、具体的な支援場面や方法について丁寧な説明を心掛けていきます。

保護者と対話し、その思いや願いをしっかりと受け止める学校

4 チーム支援

職員の子どもも理解・特性に応じた支援

○ AB評価 90% △ C評価 8% × DE評価 2%

	A とても あてはまる	B あてはまる	C どちらとも いえない	D あまり あてはまらない	E あてはまらない
保護者	48%	42%	8%	1%	1%
職員	15%	66%	16%	2%	1%
地域 諸機関	48%	44%	8%	0%	0%

保護者と対話し、その思いや願いをしっかりと受け止める学校

4 チーム支援 職員の連携

○ AB評価 88% △ C評価 10% × DE評価 2%

	A とても あてはまる	B あてはまる	C どちらとも いえない	D あまり あてはまらない	E あてはまらない
保護者	48%	40%	10%	1%	1%
職員	32%	57%	9%	1%	1%
地域 諸機関	48%	48%	4%	0%	0%

4 チーム支援 職員の子ども理解・特性に応じた支援、連携

「子どもに寄り添った支援をしてもらえる」、「子どものもてる力を伸ばそうと教材を工夫してもらえる」、「担任の先生以外の先生方に声をかけてもらえる」「子どもの様子をよく見て、声をかけて相談するきっかけを作ってくれている」などの意見をいただきました。

- 一人一人の子どもの理解、特性に応じた支援について引き続き研修を重ねていきます。
- サポートチームをはじめ学校全体で連携し、『チーム長養』でより良い支援について考えていきます。
- 部、学年、学級での連絡を密にして支援にあたっていきます。そのための時間確保や職員内での連絡伝達方法を再確認していきます。

保護者と対話し、その思いや願いをしっかりと受け止める学校

5 保護者との連携

保護者と職員との連携 安心感・信頼感があるか

○ AB評価 85% △ C評価 11% × DE評価 4%

	A とても あてはまる	B あてはまる	C どちらとも いえない	D あまり あてはまらない	E あてはまらない
保護者	47%	38%	11%	3%	1%
職員	10%	67%	21%	2%	0%
地域 諸機関	48%	44%	8%	0%	0%

保護者と対話し、その思いや願いをしっかりと受け止める学校

5 保護者との連携

保護者の思いに寄り添って 誠意をもって応えているか

○ AB評価 90% △ C評価 8% × DE評価 2%

	A とても あてはまる	B あてはまる	C どちらとも いえない	D あまり あてはまらない	E あてはまらない
保護者	47%	43%	8%	1%	1%
職員	20%	65%	14%	1%	0%
地域 諸機関	48%	48%	4%	0%	0%

5 保護者との連携

保護者の思いに寄り添えて 誠意をもって応えているか

「親身に相談や支援がされている」、「いつも丁寧に対応してもらえる」などの意見の一方で、「コロナ禍で学校に行く機会も減り、学校の様子がわからない」「担任の先生の不在や変更で信頼関係が築きづらい」といった意見もありました。

- コロナ禍で参観日等の実施が難しい状況になり保護者と直接お会いする機会や日々の学びの様子を見ていただく機会が減ってしまいました。来年度は少人数での参観等子どもたちの姿を直接見ていただけるよう考えていきながら、お便りや日々の連絡帳、また保護者の方への丁寧な連絡を通して、子どもの日々の学びや育ちが共有できるようにしていきます。

関係機関や地域と連携・特別支援学校の役割

6 地域との連携 センター的機能の発揮

福祉・医療・行政との連携・ニーズに応じた計画的な支援

○ AB評価 87% △ C評価 12% × DE評価 1%

	A とても あてはまる	B あてはまる	C どちらとも いえない	D あまり あてはまらない	E あてはまらない
保護者	40%	47%	12%	1%	0%
職員	13%	63%	21%	2%	1%
地域 諸機関	64%	32%	4%	0%	0%

6 地域との連携 センターの機能の発揮 福祉・医療・行政との連携・ニーズに応じた計画的な支援

「支援会議で課題や情報を共有し合えるので、信頼と安心がもてる」「支援会議があり各場所で統一した支援ができている」、「支援会議を通して福祉医療とも連携できる」などの意見がありました。一方で、「コロナ禍のため支援会議がなかなかできずに不安」という声もいただきました。

- コロナの感染症の状況に応じてオンラインでの会議等に切り替え支援会議の実施をしてきました。これまで(12月現在)83%のご家庭で支援会議を実施しました。関係機関からも、情報共有でき、支援方法等も参考になる高評価をいただきました。今後も関係者がつながり、子どもを中心に据えて支援の輪が広がるように学校の役割を果たしていきます。

関係機関や地域と連携・特別支援学校の役割

6 地域との連携 センター的機能の発揮

学校からのお便りやホームページ等で、学校の様子が伝わっている。

○ AB評価 87% △ C評価 12% × DE評価 1%

	A とても あてはまる	B あてはまる	C どちらとも いえない	D あまり あてはまらない	E あてはまらない
保護者	43%	50%	7%	0%	0%
職員	18%	64%	15%	2%	1%

6 地域との連携 センターの機能の発揮

学校からのお便りやホームページ等で、学校の様子が伝わっている。

「お便りで子どもの楽しそうな様子がみられて嬉しい」「お便りやホームページで学校の様子が伝わってくる」とのご意見がありました。

- 引き続き、個人情報に留意しながら、学校生活の様子や学びの姿が伝わるよう学級便りや学校だより等を発信していきます。
- 今年も長養祭の一般公開中止や同窓会の中止等、当初予定していた行事の変更があり、長野養護学校の卒業生や支援者の方からお電話での問い合わせをいただきました。応援してくださる方々にも長野養護学校の「今」が伝わるようホームページの活用にも努めていきます。

学校安全

7 学校安全

災害時・緊急時の安全な支援を想定しながら安全防災教育に取り組んでいる。

○ AB評価 87% △ C評価 13% × DE評価 1%

	A とても あてはまる	B あてはまる	C どちらとも いえない	D あまり あてはまらない	E あてはまらない
保護者	34%	53%	13%	1%	0%
職員	8%	64%	23%	5%	0%

7 学校安全

災害時・緊急時の安全な支援を想定しながら安全防災教育に取り組んでいる。

「防災訓練を行って安心」というご意見の他に、「(古い)校舎で大丈夫だろうか」「学校の立地からして緊急事態に練習のようにスムーズにいくのだろうか」等、施設の安全性への不安が複数寄せられました。また。「学校付近で火事や熊の出没などがあった際には注意喚起のメールがあった方が良かった」とのご意見もいただきました。

- 今年度、避難訓練に加え、本校では保護者への引き渡し訓練を実施しました。専門家にいただいたアドバイスを活かして、来年度も色々な場面を想定して訓練をしていきます。校舎の老朽化への不安、学校の周辺環境等、学校だけでは解決できない問題も多いですが、引き続き県への要望をあげていきます。

学校評価のまとめと来年度への展望

【新型コロナウイルス感染症への対応から、コロナ禍における児童生徒主体の学校生活づくりの邁進】

- 1 学校教育目標・学校像
⇒ 目指す姿「自分から 自分で めいっぱい」の具現化
- 2 人権を尊重した教育
⇒ 「わたし(あなた)はわたし(あなた)のままがいい」の徹底
- 3 個に応じた指導
⇒ 「個別の指導計画」を活用した一人一人の児童生徒にとっての個別最適な学び
- 4 チーム支援
⇒ 専門性を発揮し児童生徒の願いに寄り添うための支援体制再構築
- 5 保護者との連携
⇒ 日常的な情報と目指す姿の共有(個別の指導計画の活用・修正)
- 6 地域との連携
⇒ ねらいを明確にし、社会資源を活用した支援会議開催と運営
長養の「今」が伝わるホームページ活用